抗がん剤治療に関する説明及び同意書

●あなたの病気・治療について

ロルラチニブ(ローブレナ)療法

1日1回、コップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用します。

ロルラチニブ療法(スケジュールと方法)

薬剤	治療法(目安)	
ロルラチニブ	1日1回	効果が持続している間、 継続して服用

●副作用について

副作用の現れ方、出現頻度には個人差があります。抗がん剤による副作用は、薬で予防できるものや、症状を和らげることができるものもありますので、副作用がつらいと感じたときにも担当医にお知らせください。

起こりやすい副作用	高コレステロール血症、高トリグリセリド血症、むくみ、	
	中枢神経障害、下痢、だるさ	
まれにしか起こらないが重い	間質性肺炎	
副作用		

●起こりやすい副作用

① 高コレステロール血症、高トリグリセリド血症 動脈硬化の原因の1つであるため、進行すると、心臓や脳などの血液の流れが悪くなってしまうおそれがあります。必要に応じて脂質降下薬を使います。

② むくみ

血液中やリンパ液中の水分が血管・リンパ管の外に漏れ出て、皮下組織に溜まっている状態です。手足や顔がむくんだり、体重が増えたりすることがあります。

③ 中枢神経障害

忘れっぽくなったり注意力が低下するなどの認知障害、言葉が出にくかったり呂律が回りにくいなどの言語障害があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、 医師の判断でローブレナの減量、休薬などの対応を行い、症状の改善・回復を待ちます。

④ ニューロパチー 末梢神経が障害され、手足に力が入らない、物をよく落とす、うまく歩行できない、など の運動・感覚のまひや、手足のしびれ・痛みなどの症状があらわれることがあります。
⑤ 下痢 下痢の回数が増えると脱水症状を引き起こすことがあるので注意が必要です。飲み薬や 点滴による治療を行うこともあります。
⑥ だるさ 症状の軽いものを含めると、多くの方に現れます。しかし、肺がん自体でも同症状が出 現することもあります。
●まれにしか起こらないが重い副作用 ① 間質性肺炎 間質性肺炎(肺臓炎)は、発症した患者さんの半分近くが命をおとす危険な副作用です。 風邪のような症状(咳がひどくなる・息切れ・発熱など)が現れたら、担当医に伝えるよう にしてください。
抗がん剤治療による様々な副作用は上記以外にも起こることが報告されています。適切な治療を行ったにも関わらず、お亡くなりになる方もいらっしゃいます。上記のような症状、または上記以外でもいつもと違う症状が出た場合は、担当医まで連絡してください。
以上がん化学療法について説明をしました。 西暦 年 月 日
地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター
@USERSECTION 担当医師

上記について担当医から説明を受け、納得しましたので治療を受けることに同意します。
西暦 年 月 日
患者氏名
親族又は代理人(配偶者・父母・兄弟姉妹・親権者・保護義務者・法定代理人・その他)
氏名 続柄